



## 2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月10日

上場会社名 株式会社 松風

上場取引所 東

コード番号 7979 URL <https://www.shofu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高見 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 森本 隆

TEL 075-561-1112

定時株主総会開催予定日 2023年6月27日

配当支払開始予定日

2023年6月7日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	31,678	12.6	3,824	18.9	4,238	15.8	3,135	23.1
2022年3月期	28,137	14.0	3,217	39.8	3,658	45.0	2,546	52.1

(注) 包括利益 2023年3月期 3,584百万円 (6.5%) 2022年3月期 3,366百万円 (6.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	176.10	175.13	9.2	10.0	12.1
2022年3月期	143.22	142.33	8.1	9.3	11.4

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 9百万円 2022年3月期 1百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	43,727	35,515	80.8	1,996.64
2022年3月期	40,709	32,940	80.5	1,841.55

(参考) 自己資本 2023年3月期 35,342百万円 2022年3月期 32,759百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	3,170	1,290	1,457	8,830
2022年3月期	3,736	1,288	1,074	8,208

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		13.00		26.00	39.00	693	27.2	2.2
2023年3月期		15.00		42.00	57.00	1,011	32.4	3.0
2024年3月期(予想)		20.00		27.00	47.00		30.0	

(注) 2022年3月期期末配当金の内訳 創立100周年記念配当 2円00銭

2023年3月期期末配当金の内訳 創立100周年記念配当 10円00銭

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,408	3.6	1,868	16.5	2,004	27.0	1,312	38.5	74.17
通期	33,550	5.9	3,820	0.1	3,938	7.1	2,769	11.7	156.46

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	17,894,089 株	2022年3月期	17,894,089 株
期末自己株式数	2023年3月期	192,907 株	2022年3月期	105,013 株
期中平均株式数	2023年3月期	17,805,323 株	2022年3月期	17,780,582 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	19,329	9.5	956	26.8	3,233	48.7	2,881	70.2
2022年3月期	17,653	13.0	754	139.7	2,174	86.1	1,693	71.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	161.85	160.96
2022年3月期	95.23	94.64

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	36,012	29,197	80.8	1,643.88
2022年3月期	33,255	27,533	82.4	1,541.23

(参考) 自己資本 2023年3月期 29,098百万円 2022年3月期 27,416百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があることをお含みおき下さい。業績予想に関連する事項については、添付資料P.4「(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

(全般の状況)

当連結会計年度の世界経済は、新型コロナウイルスとの共生が進み、景気に持ち直しの動きが見られましたが、ウクライナ情勢を受けた資源・エネルギー価格の高騰のほか、各国の金融引き締め政策や急激な為替変動に加え、年度末にかけては欧米の金融不安が高まるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。国内経済についても、社会経済活動の正常化が進む中、緩やかな回復基調で推移しましたが、世界経済と同様のリスク要因に加え、物価高騰による消費マインドの低下などの懸念材料もあり、景気悪化への懸念が払拭できない状況が続きました。

歯科業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に収まりを見せ、昨年6月に閣議決定された骨太方針において、国民皆歯科検診の導入検討が発表されるなど、明るい材料もありましたが、歯科医療のデジタル化の進展など市場環境は変化を続けております。

このような状況の中、2022年5月に創立100周年を迎えた当社グループは、第四次中期経営計画の二年目を迎え、今後の成長に向けた積極的な施策を推進してまいりました。具体的には、成長が見込めるデジタル歯科や予防分野の新製品を市場に投入するほか、デジタルコンテンツの充実等を通じて歯科医療従事者への情報提供活動の強化に努めました。また、新興国を中心に海外販売網の拡充に注力するとともに、京都本社内に歯科用CAD/CAM製品のデモ体験ができるショールームを備えた新社屋「あゆみテラス」を竣工させるなど、今後の成長に向けた事業基盤の整備に取り組みました。さらに、サステナビリティ経営を推進するための基本方針を策定するとともに、優先的に取り組むべき重点テーマと重要課題（マテリアリティ）を特定し、目標達成に向けた取組みを展開いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は31,678百万円と、前年同期比3,540百万円(12.6%)の増収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果により3,824百万円と前年同期比607百万円(18.9%)の増益となりました。

経常利益は、営業外費用が増加したため増益幅が縮小し、4,238百万円と前年同期比579百万円(15.8%)の増益となりました。

特別利益として受取和解金や投資有価証券売却益を計上した結果、税金費用を差し引いた親会社株主に帰属する当期純利益は、3,135百万円と前年同期比588百万円(23.1%)の増益となり、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに過去最高の業績となりました。

(デンタル関連事業)

国内におきましては、歯科切削加工用セラミックス「松風ディスクZRルーセント スープラ」や歯科切削加工用レジン材料「松風ブロック HC ハード II」など、CAD/CAM関連製品が売上に貢献し、前年同期比増収となりました。

海外では、診療系材料のGiomer製品群の販売戦略が奏功し、各地域で化工品類の売上が伸長するとともに、中国を含むアジア地域を中心に売上が好調に推移しました。さらに、為替変動のプラス影響もあり、前年同期比増収となりました。

これらの結果、デンタル関連事業の売上高は29,238百万円と前年同期比3,361百万円(13.0%)の増収となり、販売費及び一般管理費が増加したものの、営業利益は3,719百万円と前年同期比654百万円(21.4%)の増益となりました。

(ネイル関連事業)

国内におきましては、競合他社の攻勢により一般消費者向けジェルネイル「by Nail Labo」の売上が減少しましたが、主力のアクリル材料「Nail de Dance」に回復の兆しが見られ、売上に貢献した結果、前年同期比増収となりました。

海外におきましては、米国においてSNSを活用したプロモーション活動に注力しましたが、インフレの影響による消費の落ち込みにより苦戦いたしました。一方、台湾ではコロナ禍からの需要回復に加え、独自ブランド製品がチェーン店を中心に売上を伸ばし、海外全体では前年同期比増収となりました。

これらの結果、ネイル関連事業の売上高は、2,345百万円と前年同期比177百万円(8.2%)の増収となりましたが、販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は93百万円と前年同期比38百万円(29.0%)の減益となりました。

(その他の事業)

その他の事業におきましては、工業用研磨材は自動車業界における減産の長期化による影響を受けたものの、設備投資の回復や自動化・省力化ニーズの高まりなどにより産業用機械向けが堅調に推移し、全体の売上は年間を通じて好調に推移しました。

これらの結果、その他の事業の売上高は、95百万円と前年同期比2百万円(2.5%)の増収となりましたが、営業利益は5百万円と前年同期比8百万円(61.4%)の減益となりました。

(注) 各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

## (2) 当期の財政状態の概況

資産は、商品及び製品や、本社内の新社屋建設に伴う有形固定資産の増加などにより、前期末比3,017百万円増加し、43,727百万円となりました。

負債は、未払法人税等や設備関係未払金の増加などにより、前期末比441百万円増加し、8,211百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより、前期末比2,575百万円増加し、35,515百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.8%(前期末80.5%)となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期末における現金及び現金同等物は前期末に比べ、622百万円増加し、8,830百万円となりました。当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,736	3,170	△566
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,288	△1,290	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,074	△1,457	△382
現金及び現金同等物に係る換算差額	362	199	△162
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	1,735	622	△1,112
現金及び現金同等物の期首残高	6,305	8,208	1,902
連結範囲の変更に伴う増減額(減少：△)	166	—	△166
現金及び現金同等物の期末残高	8,208	8,830	622

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,170百万円のプラス(前期比566百万円の減少)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益4,410百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,290百万円のマイナス(前期比1百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,545百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,457百万円のマイナス(前期比382百万円の減少)となりました。これは主に親会社による配当金の支払額730百万円や、長期借入金の返済による支出325百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、世界経済全体では緩やかながら成長が続くと見込まれるものの、各国の金融引締め政策の影響により、欧米を中心に景気後退懸念が高まるなど、依然として楽観視できない状況が続くものと予想されます。

歯科業界におきましては、国内市場ではデジタル歯科や審美・予防分野の成長が期待できるほか、海外市場では各地域の経済成長や生活水準の向上により歯科医療の需要は拡大するものと見込んでおります。

このような状況の中、当社グループは「創造的な企業活動を通じて世界の歯科医療に貢献する」という経営理念のもと、世界の歯科医療への貢献度をより高めていくため、連結売上高500億円、連結営業利益75億円という“当社のあるべき姿”の実現を目指しております。

第四次中期経営計画の最終年度を迎える2023年度は、当社グループの更なる成長に向けて、中期における重点課題に対して、スピード感をもって着実に実行してまいります。

次期の業績の見通しについては、次のとおりであります。

(単位：百万円・%)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 見通し	増減	増減率
売上高	31,678	33,550	1,871	5.9
営業利益	3,824	3,820	△4	△0.1
経常利益	4,238	3,938	△299	△7.1
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,135	2,769	△365	△11.7

主な為替レート 米ドル130.00円、ユーロ140.00円、英ポンド155.00円、中国人民元19.00円

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、長期的な企業価値の向上と、株主のみなさまへの利益還元を目指しつつ安定した配当の維持・継続を基本方針としておりますが、一方で、経営基盤の強化・財務体質の改善を図りながら、海外事業の拡大、新製品開発のための研究開発投資等、将来における積極的な事業展開に備えるため内部留保の充実に配慮していく考えであります。

利益還元の指標としましては、連結配当性向30%以上を目標とするほか、純資産配当率(DOE)1.7%を目安とすることとして、中間及び期末の年2回の配当を通じて、安定した還元を実施しております。

当期の期末配当金は、普通配当1株当たり32円のほか、創立100周年記念配当として1株当たり10円を合わせた42円とし、既に実施済みの中間配当金1株当たり15円をあわせた年間配当金は1株当たり57円となります。

次期の1株当たり年間配当金におきましては普通配当47円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS(国際会計基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

( 1 ) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年 3 月31日)	当連結会計年度 (2023年 3 月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,064	9,578
受取手形	204	220
売掛金	3,089	3,273
商品及び製品	5,303	5,854
仕掛品	1,126	1,413
原材料及び貯蔵品	1,125	1,124
その他	555	775
貸倒引当金	△6	△19
流動資産合計	20,462	22,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,837	11,501
減価償却累計額	△5,930	△6,249
建物及び構築物 (純額)	3,907	5,252
機械装置及び運搬具	4,758	5,077
減価償却累計額	△3,690	△3,947
機械装置及び運搬具 (純額)	1,067	1,130
土地	2,408	2,442
建設仮勘定	352	259
その他	4,223	4,683
減価償却累計額	△3,529	△3,772
その他 (純額)	693	910
有形固定資産合計	8,429	9,995
無形固定資産	427	462
投資その他の資産		
投資有価証券	9,626	9,049
繰延税金資産	107	148
退職給付に係る資産	1,220	1,316
その他	443	538
貸倒引当金	△7	△5
投資その他の資産合計	11,390	11,047
固定資産合計	20,247	21,506
資産合計	40,709	43,727



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年 3 月31日)	当連結会計年度 (2023年 3 月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	928	1,011
1年内返済予定の長期借入金	325	907
未払法人税等	656	780
契約負債	6	6
役員賞与引当金	50	64
その他	2,469	3,178
流動負債合計	4,437	5,949
固定負債		
長期借入金	1,153	281
繰延税金負債	1,310	1,150
退職給付に係る負債	235	207
その他	633	622
固定負債合計	3,332	2,262
負債合計	7,769	8,211
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,968	5,968
資本剰余金	6,123	6,142
利益剰余金	16,001	18,406
自己株式	△115	△379
株主資本合計	27,978	30,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,426	3,201
為替換算調整勘定	713	1,348
退職給付に係る調整累計額	641	655
その他の包括利益累計額合計	4,781	5,204
新株予約権	116	99
非支配株主持分	64	73
純資産合計	32,940	35,515
負債純資産合計	40,709	43,727

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	28,137	31,678
売上原価	11,970	12,979
売上総利益	16,167	18,699
販売費及び一般管理費	12,950	14,874
営業利益	3,217	3,824
営業外収益		
受取利息	25	43
受取配当金	111	155
為替差益	206	178
持分法による投資利益	1	9
会費収入	94	114
その他	229	153
営業外収益合計	668	654
営業外費用		
支払利息	12	18
当社主催会費用	157	181
その他	56	41
営業外費用合計	226	240
経常利益	3,658	4,238
特別利益		
投資有価証券売却益	-	59
受取和解金	-	112
特別利益合計	-	171
特別損失		
固定資産除却損	47	-
特別損失合計	47	-
税金等調整前当期純利益	3,611	4,410
法人税、住民税及び事業税	1,093	1,344
法人税等調整額	△50	△94
法人税等合計	1,043	1,250
当期純利益	2,567	3,160
非支配株主に帰属する当期純利益	20	24
親会社株主に帰属する当期純利益	2,546	3,135

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	2,567	3,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△225
為替換算調整勘定	833	636
退職給付に係る調整額	△2	13
その他の包括利益合計	799	424
包括利益	3,366	3,584
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,340	3,558
非支配株主に係る包括利益	26	26

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,968	6,097	14,116	△145	26,037
会計方針の変更による累積的影響額			△0		△0
会計方針の変更を反映した当期首残高	5,968	6,097	14,116	△145	26,036
当期変動額					
剰余金の配当			△604		△604
親会社株主に帰属する当期純利益			2,546		2,546
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		25		30	56
連結範囲の変動			△57		△57
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	25	1,885	30	1,941
当期末残高	5,968	6,123	16,001	△115	27,978

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	3,457	△114	644	3,987	116	57	30,198
会計方針の変更による累積的影響額							△0
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,457	△114	644	3,987	116	57	30,197
当期変動額							
剰余金の配当							△604
親会社株主に帰属する当期純利益							2,546
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							56
連結範囲の変動							△57
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△31	827	△2	793		7	801
当期変動額合計	△31	827	△2	793	-	7	2,742
当期末残高	3,426	713	641	4,781	116	64	32,940

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,968	6,123	16,001	△115	27,978
会計方針の変更による累積的影響額			-		
会計方針の変更を反映した当期首残高	5,968	6,123	16,001	△115	27,978
当期変動額					
剰余金の配当			△730		△730
親会社株主に帰属する当期純利益			3,135		3,135
自己株式の取得				△322	△322
自己株式の処分		19		58	78
連結範囲の変動			-		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	19	2,405	△264	2,160
当期末残高	5,968	6,142	18,406	△379	30,138

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	3,426	713	641	4,781	116	64	32,940
会計方針の変更による累積的影響額							-
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,426	713	641	4,781	116	64	32,940
当期変動額							
剰余金の配当							△730
親会社株主に帰属する当期純利益							3,135
自己株式の取得							△322
自己株式の処分							78
連結範囲の変動							-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△225	634	13	422	△16	8	414
当期変動額合計	△225	634	13	422	△16	8	2,575
当期末残高	3,201	1,348	655	5,204	99	73	35,515

( 4 ) 連結キャッシュ・フロー計算書

( 単位 : 百万円 )

	前連結会計年度 ( 自 2021年 4 月 1 日 至 2022年 3 月 31 日 )	当連結会計年度 ( 自 2022年 4 月 1 日 至 2023年 3 月 31 日 )
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,611	4,410
減価償却費	901	971
貸倒引当金の増減額 ( △は減少 )	△1	9
退職給付に係る負債の増減額 ( △は減少 )	△126	△128
受取利息及び受取配当金	△136	△198
支払利息	12	18
為替差損益 ( △は益 )	△47	△3
投資有価証券売却損益 ( △は益 )	-	△59
持分法による投資損益 ( △は益 )	△1	△9
受取和解金	-	△112
売上債権の増減額 ( △は増加 )	23	△114
棚卸資産の増減額 ( △は増加 )	△102	△572
仕入債務の増減額 ( △は減少 )	△153	△3
その他	392	△188
小計	4,371	4,019
利息及び配当金の受取額	224	287
利息の支払額	△10	△15
法人税等の支払額	△848	△1,141
和解金の受取額	-	21
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,736	3,170
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△769	△883
定期預金の払戻による収入	554	994
有形固定資産の取得による支出	△964	△1,545
有形固定資産の売却による収入	-	5
無形固定資産の取得による支出	△101	△87
投資有価証券の売却による収入	-	233
貸付けによる支出	△6	△16
貸付金の回収による収入	10	15
その他	△12	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,288	△1,290
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 ( △は減少 )	△91	-
リース債務の返済による支出	△61	△62
長期借入れによる収入	517	-
長期借入金の返済による支出	△814	△325
自己株式の増減額 ( △は増加 )	△0	△322
配当金の支払額	△604	△730
非支配株主への配当金の支払額	△19	△17
ストックオプションの行使による収入	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,074	△1,457
現金及び現金同等物に係る換算差額	362	199
現金及び現金同等物の増減額 ( △は減少 )	1,735	622
現金及び現金同等物の期首残高	6,305	8,208
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 ( △は減少 )	166	-
現金及び現金同等物の期末残高	8,208	8,830

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業は、デンタル関連事業、ネイル関連事業及びその他の事業（工業用材料・機器の製造販売）から構成されており、各事業単位で、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、「デンタル関連事業」、「ネイル関連事業」、「その他の事業」を報告セグメントとしております。「デンタル関連事業」は、歯科に関連する材料、機器の製造・販売及び修理サービスを、「ネイル関連事業」は、ネイルに関連する美容器具・健康器具及び化粧品の製造・販売、サービスを、「その他の事業」は、工業用材料・機器の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他 の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,876	2,168	92	28,137	—	28,137
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	6	6	△6	—
計	25,876	2,168	99	28,144	△6	28,137
セグメント利益	3,065	131	14	3,211	5	3,217
セグメント資産	32,046	1,745	110	33,901	6,807	40,709
その他の項目						
減価償却費	867	29	3	901	—	901
持分法投資利益	1	—	—	1	—	1
持分法適用会社への投資額	2,814	—	—	2,814	—	2,814
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,070	29	0	1,100	—	1,100

(注)1(1)セグメント利益の調整額5百万円はセグメント間取引消去によるものであります。

(2)セグメント資産の調整額6,807百万円には、各セグメントに配分していない全社資産が含まれており、その主なものは当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資産(投資有価証券等)等の資産であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	
日本	12,790	1,350	92	14,233
北米・中南米	3,054	271	—	3,325
欧州	5,659	—	—	5,659
アジア	4,372	546	—	4,919
顧客との契約から生じる収益	25,876	2,168	92	28,137
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高(注)	25,876	2,168	92	28,137

(注)外部顧客への売上高は、当社及び連結子会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。



当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他 の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,238	2,345	95	31,678	—	31,678
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	5	5	△5	—
計	29,238	2,345	100	31,684	△5	31,678
セグメント利益	3,719	93	5	3,818	6	3,824
セグメント資産	35,454	1,841	101	37,397	6,329	43,727
その他の項目						
減価償却費	931	37	3	971	—	971
持分法投資利益	9	—	—	9	—	9
持分法適用会社への投資額	2,734	—	—	2,734	—	2,734
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,258	59	2	2,319	—	2,319

(注)1 (1)セグメント利益の調整額6百万円はセグメント間取引消去によるものであります。

(2)セグメント資産の調整額6,329百万円には、各セグメントに配分していない全社資産が含まれており、その主なものは当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資産(投資有価証券等)等の資産であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他 の事業	
日本	13,594	1,335	95	15,025
北米・中南米	3,635	273	—	3,908
欧州	6,355	—	—	6,355
アジア	5,653	736	—	6,389
顧客との契約から生じる収益	29,238	2,345	95	31,678
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	29,238	2,345	95	31,678

(注)外部顧客への売上高は、当社及び連結子会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,841.55円	1,996.64円
1株当たり当期純利益金額	143.22円	176.10円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	142.33円	175.13円

（注）1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,546	3,135
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,546	3,135
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,780	17,805
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	110	98
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	32,940	35,515
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	180	172
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	32,759	35,342
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	17,789	17,701

（重要な後発事象）

該当事項はありません。